

いつか
どこかで



みんなの広場

皆さんが作る楽しいスペースです。あなたもぜひ登場を。町政や町民生活に関して、言いたいこと、聞きたいこと、呼び掛けたいことなど、あなたの声やあなたの地域・職場での話題をお寄せください。投稿と問い合わせは役場企画商工課企画広報係☎内線 216 まで。



僕の夢 私の夢

241

いわさき こうへい
岩崎 公平 くん(左)

ほその きよまさ
細野 清将 くん (岩瀬張小5年全員)

大活躍の仲良し2人組

将来は「プロ野球選手になりたい」公平くんと「マンガ家になりたい」清将くんは、いつも仲良し2人組。児童会活動で図書担当を務める公平くんは大の読書家で、1学期中に227冊もの本を読破。最近では日本の歴史に夢中で、その豊富な知識には先生もたじろです。同じく健康担当を務める清将くんは校内一の元気で、「インフルエンザを予防しよう!」と声を大にして手洗いやうがいと呼び掛けるなど、それぞれ大活躍。ともに所属する岩瀬張卓球スポーツ少年団ではよきライバル同士で、9月の県大会に向け猛練習を重ねます。

いわてっ子 241

忠志さん・佐知子さん夫妻の長男・下五日市

えんどう せいはい
遠藤 青羽 くん (2歳6カ月)

外で遊ぶのが大好きな子です。いつも大の仲良しの2人のおばあちゃんの家に行き、一緒に畑の野菜を収穫したり、車で出掛けたりして遊んでいます。そのせいか野菜が好物で、あいさつや話も人見知りせずいきちんとできるようになりました。最近では掃除や食事の支度を手伝ってくれるなど持ち前の優しい心根を感じます。元気で思いやりのある子に育てほしいですね(母親・佐知子さんの話)



いつも笑顔いっぱい
2人のおばあちゃんが好きです



南山形小で「里川キャンプ」 町の豊かな自然環境を体感

ふるさとの大自然を体感し、楽しい夏の思い出を作ろうと「ふるさと再発見事業・里川キャンプ」(町教育委員会など主催)は七月三十一日と八月一日の両日、沼宮内水堀川、口、二方井、岩瀬張、北山形、南山形の各小学校の児童三十三



①川の増水のため南山形小のプールで行われた魚のつかみ捕り②早大生の指導の下、南山形小で開かれた。当日は、丹藤川の増水のため、恒例の川遊びや魚のつかみ捕りは北山形、南山形両小のプールで行われ、その後、天

候の回復と児童たちの希望により、県自然観察指導員の内田尚宏さんと早稲田大生の指導・協力の下、ライフジャケットを着用し、ボートやカヌー、遊泳を体験しました。また、班ごとにテントの設営やカレーライス作りに挑戦し、キャンプファイヤーや花火を楽しむなど、里川ならではの魅力と豊かな自然を大いに満喫しました。

夜空に咲く大輪の花に歓声 恒例の町夏まつり盛大に!

第十五回町夏まつりは八月十四日、道の駅「石神の丘」で盛大に開催されました。

当日は、天候に恵まれたこともあって、お盆の帰省客も加わり延べ約八千人が来場。会場と同イベント広場では、お祭りコーナーや町商工会青年部



大音響とともに町の夜空を彩る大輪の花に拍手喝采

による屋台コーナーなどが設けられ、大勢の親子連れなどにぎわいました。また、恒例の花火大会では、約千五百発の花火が次々と打ち上げられ、町の夜空を彩る大輪の花々に魅了された観客から、大きな歓声と拍手が沸きあがりました。

本当にいい集落なんです

ほその せんぱち
細野 専八 さん (78歳、岩瀬張)

「この岩瀬張は小さな集落ですが、昔から『結』の精神が強くて、互いに協力し助け合ってきた本当にいい集落なんです」と話す専八さんは、若いころから農業を営みながら県内外への出稼ぎを繰り返すなど、年中息つく暇もなく一生懸命に働き、一家を支え続けてきました。その一方で、自治振興会長の重責を担うなど、地域のためにも誠心誠意尽力。集落内の桜の名所「いこいの広場」の建設や、毎年恒例となっている「岩瀬張村づくり推進大会」の礎を、志を同じくする仲間とともに築き上げました。「『地域のよさ』は自分たちが作るもの。心と力を合わせれば、単なる笹山もいこいの場になりますよ」と話し、岩瀬張特産の大根を抱えて微笑みます。

よさの集落

241

